

## 令和4年度第2回東久留米市地域医療協議会会議録

日 時 令和5年2月6日(月)午後1時30分から午後2時30分

会 場 東久留米市役所4階庁議室

出席者等 (敬称略・順不同)

委 員 熊野 雄一 北村 晃 子田 純夫 福山 中  
石橋 幸滋 大高 義文 大槻 健人 山下 公平  
荒島 久人 浦山 和人

事務局 健康課長 主幹(新型コロナウイルスワクチン接種担当)  
課長補佐(兼)主査(新型コロナウイルスワクチン接種担当)  
予防係長 保健サービス係長 健康課主査 特定健診係長

### 第1 開会

### 第2 議題

(会長)

それでは議事に入ります。まず、「(1) 令和5年度保健衛生事業計画について」事務局よりお願いします。

(事務局)

「令和5年度保健衛生事業計画」に沿って各係から事業計画を報告。

- ・ 予防係…予防接種事業、休日診療事業
- ・ 特定健診係…各種健(検)診事業・特定保健指導事業
- ・ 保健サービス係…健康増進事業、自殺対策事業、母子保健事業、歯科保健事業、交付金事業

(会長)

それでは、令和5年度保健衛生事業計画について、委員の皆様からのご質問等をお受けします。

(委員)

「予防接種事業」について

高齢者インフルエンザの予防接種に関して、今年度は無償となり、来年度どうなるかわかりませんが、今後の予防接種について、大体いつぐらいまでに、どういう形で行っていこうかという何か考え、案とかございますか。

(事務局)

高齢者インフルエンザの予防接種については、今年度は都の補助があり無償化ということで、通常ですと接種率40%程度であったのが、53%ぐらいの見込みと

なっています。

高齢者インフルエンザの予防接種については、当市と近隣4市においては、同じ条件で受けられるようになっていますが、他の自治体とはお互い条件が整っているところのみ同じ条件で受けられる形となっております。

今後、いつからとはまだ申し上げられませんが、接種を望む方の利便性等を考え、各自治体の運用等、例えば償還払いの方法等いろいろな方法があるかと思っておりますので、研究したいと考えております。

(委員)

予防接種の接種率や目標の数値などが計画書に掲載されていないので、載せていただいた方が良いと思います。また、目標はパーセンテージにしてもらえると分かりやすいです。

(事務局)

次回から掲載させていただきます。

(委員)

「感染症対策事業」について

多摩小平保健所長に質問ですが、医療計画については第8次が変わり、感染症対策については第6事業に入ってくると思いますが、これらは市の感染症予防対策に影響してきますか。

(委員)

個別の事業に直接影響はないと考えます。感染症対策は、広域にまたがるものなので、東京都全体としての対応を考えていく方が望ましいと思います。ですので、今後、東京都の補助事業として、より望ましい政策があるかなどの議論が、協議会にてされるのではないかと予想しております。

(委員)

そういった事業を実施するのは、来年度以降になりますか。

(委員)

優先順位があるのでいきなりというのは考えにくいです。特に、次年度は、新型コロナウイルスの5類への段階的な移行があるので、それが落ち着いてからの対応となるのではないかと考えます。

(委員)

「健康診査事業」について

多摩小平保健所長に質問です。再来年にデータヘルス計画が見直しされると思いますが、自治体において健診結果に関するデータの活用がうまくできていないと感じます。何か方針等がありますか。

(委員)

今までデータの利用の一つの障壁となっていた個人情報保護に関して、自治体ご

とではなく国全体を通して保護していくことになるので、マイナンバーへの連携など、よりビッグデータとして使える可能性が出てくると考えております。それにより、今まで以上にエビデンスに基づいた施策が可能になるのではないかと期待しております。

(委員)

そういったものが活用できるようになると、各自治体独自の計画策定が可能になりますか。

(委員)

可能だと思います。一方で相互乗り入れ等で共通化される部分もありますので、地域の特性を活かした部分とうまく組み合わせていく必要があると思います。

(委員)

東久留米市のデータヘルス計画は、保険年金課が策定しているのですか。また、データヘルス計画に基づき何か活動しているのですか。

(事務局)

当市のデータヘルス計画は、保険年金課と健康課が共同で策定しており、分析結果を基に、受診率が低い世代等に受診勧奨を行っております。

(会長)

「予防接種事業」について

带状疱疹ワクチン接種の助成については、来年度実施するのですか。

(事務局)

現時点では、実施開始時期や助成の対象等について未定となっております。

(委員)

「子ども家庭庁」について

子ども家庭庁が創設されると、妊産婦から乳幼児までの一体化事業の実施や各医療機関等を含めた総括的な対応をしなければならなくなると思います。それに伴い、自治体によっては、組織変更をする場合もあるようですが、東久留米市は何か対策等をお考えですか。

(事務局)

家庭庁創設等に伴う専門委員会を当市でも立ち上げておりますが、具体的な中身については、まだ議論がされておられません。具体的な中身については、2月以降に専門委員会で議論していく予定です。

(委員)

保健、医療、福祉全てに関わってくる事業ですので、具体的な施策を作っていく際には、委員や各医療関連団体の意見を取り入れながら進めていただきたいと思います。

(委員)

補足の説明をさせていただきます。事務局からも説明がありましたが、こども家庭庁は令和5年4月1日に設置される予定となっており、各自治体については令和6年4月1日からの開始予定となります。それに向け、庁内で組織編成も含めて検討しているところでございます。

(委員)

今回の政策は、地域包括支援センターのようなものを、子ども達にも作ってあげたいという思いから作成する計画だと聞いておりますので、問題があったときにワンストップでその問題に対応できるような組織を作っていただきたいと思います。

(会長)

つづきまして、「(2) 新型コロナウイルスワクチン接種事業について」事務局よりお願いします。

(事務局)

新型コロナウイルスワクチン接種担当より「新型コロナウイルスワクチン接種実績(2)」に沿ってワクチン接種実績を説明。

(会長)

それでは、新型コロナウイルスワクチン接種実績について、委員の皆様からのご質問等をお受けします。

(委員)

アストラゼネカとノババックスワクチンを接種されている方が少数おりますが、このワクチンを接種した理由は何かあるのでしょうか。

(委員)

ノババックスは東久留米市の中で接種しているところはほぼないです。初期の頃にアストラゼネカは使用されていましたが、今は使用されていません。ノババックスに関しましては mRNA ワクチンを打てない人、ワクチン接種でアレルギーが出る方などが、選択をして立川市等で接種しています。

(副会長)

市民の10代の方が何パーセント接種したかという数値は出ないのでしょうか。

(事務局)

人口に対して何名の方が1回目を接種したかを出したものがございますので、接種率は、そちらの方から知ることができます。

(会長)

実際その数値はわかりますか。

(事務局)

従来ですと1回目が72.7%、2回目が70.8%、3回目が44.4%、4回目が15.6%、5回目の方はごく少数となっております。

(委員)

事務局に確認です。新型コロナウイルスワクチンの接種実績ということで令和4年12月1日と令和5年2月1日時点の実績をいただいておりますが、職域接種と集団接種のところで令和4年12月1日時点の方が人数が多い項目があります。ご説明をお願いします。

(事務局)

もしかすると私の集計のミスということがあるかと思いますが、基本的には国の作成のVRSと言われるシステムから抽出したものを集計しております。おっしゃる通り12月1日時点の数字が逆転しているところがございますが、実数のところ先ほど申し上げた通り私の集計ミスがなければ、原因がわからないといったところがございます。

ただ現状2月1日時点の数字は資料として計上させていただいたものでございます。

(会長)

つづきまして、「(3) その他」に移りますが、皆様何かございますか。

(副会長)

休日医科診療は輪番で、わくわく健康プラザ以外で行われる日がありますが、その時に休日歯科診療に電話がかかり、休日医科診療所につながらないという電話が相当あり、休日医科診療のわくわく健康プラザ以外での実施日については、当番はこの病院です、というのを休日歯科診療の受付で準備をしていて、電話番号などを丁寧に説明する、という事をやっております。

しかし、たまに休日医科診療所の電話が出ない、という事で休日歯科診療の受付の者が怒られるということがあります。

患者さんのなんで電話に出ないんだ、という気持ちもわかるので、休日歯科診療においては、同じ医療人として丁寧に説明をよろしく申し上げますという形にしているのですが、会員の当番の先生にお願いしているという事もありますので、何かアナウンスの方法で休日医科診療をわくわく健康プラザでやっていない時の工夫等できないでしょうか。現状のご報告とお願いをさせていただきます。

(事務局)

留守番電話や広報・ホームページ等で輪番制のお知らせはしているのですが、やはり休日医科診療は、ずっとわくわく健康プラザで行われている、と思ってる方がいらっしゃいますので、周知の方法について工夫したいと思います。

(会長)

それでは、これをもって、令和4年度第2回東久留米市地域医療協議会を閉会と

させていただきます。本日は、お忙しいところご出席いただき、ありがとうございました。

以 上